

## 第 22 回

# 実務補習所ってこんなところ😊

論文式試験合格者の皆さん、こんにちは。

合格おめでとうございます。

今回は公認会計士の実務補習所についてお話ししたいと思います。



ご存じの方も多いかと思いますが、論文式試験に合格してもすぐに公認会計士の資格を得られるわけではありません。実務補習所に入所し、3年かけて必要な単位を取得したうえで、修了考査と呼ばれる試験に合格しなくてはなりません。

苦勞の果てに論文式試験を突破し、達成感に浸っている皆さんにとってはイヤな話かもしれませんが、プロフェッショナルになるための道はそう甘くはない

のです（公認会計士に限った話ではありませんが）。  
そこで、ここでは実務補習所の大まかな内容をお話し  
させていただくことで、少しでも皆さんの参考になれば  
と思います。

実務補習所で主にすることは、  
講義、考査、課題研究の3つです。  
考査は3～4つの科目から出題される試験で、計10回  
実施されます。  
課題研究は指定されたテーマを基に論文を作成し、期  
限内に提出しなくてはなりません。こちらは計6回実  
施されます。講義や試験を受け、論文を提出するとい  
ったところは大学に近いかもしれませんね。

入所から3年後に講義、考査、課題研究の全てにお  
いて必要な単位が取得できていれば修了  
考査の受験資格が得られますが、ここで  
単位が足りていないと、さらに1年以上  
かけて不足単位を補う羽目になります。



いわゆる留年であり、できれば避けたい事態です。

そこで皆さんに意識していただきたいのは、1,2年目の内に余裕を持って単位を取得し、後が楽な状態にしておくべきだということです。というのも3年目になると修了考査の勉強もしなくてははいけませんし、普



段の業務も忙しくなってくる頃なので、ここで過年度の未修講義や追試、追論文がいくつも残っていると非常に大変だからです。

講義は後からでも受けられますし、考査や課題研究も挽回のチャンスは割と多く与えられているので、来年頑張ればいいやとつい考えてしまいたくなりますが、ここは面倒臭がらずに早い内からこまめに課題を消化していきましょう。

皆さんが立派な公認会計士になれるよう応援しております。頑張ってください。